

## TOKUYA TIMES

とくや  
タイムズ

NEW

http://ito-tokuya.com/tokuya

伊藤 とくや

Winter. 2007-08 vol.3



# 官製不況から救え！ 建築確認申請遅延問題

## 豊橋の未来を担う「教育」について

### 建築確認申請遅延



### 第3号発行のご挨拶

12月定例会は今回も22名による本会議一般質問、各常任委員会が開かれるとともに、決算特別委員会が2日間に渡って開催されました。今、日本中の地方都市が財政難で悲鳴を上げている様子が報道されていますが、本市も平成18年度より地方交付税不交付団体となり、財政は厳しさを増した状況が伺えました。

平成20年度の予算を決議する3月定例会へ向けてのスタートです。

### 12月 一般質問

1. 建築基準法等の一部改正による確認申請業務遅延と、本市の対応について
2. 本市における教育の諸課題について
  - (1) 学校、家庭、地域、それぞれの役割と連携
  - (2) 2学期制の進捗状況
  - (3) ゆとり教育からの方向転換と本市の教育方針と課題
  - (4) 学校建築のありかた

## 質問 1 豊橋市の建築確認遅延問題

平成19年6月20日、**改正建築基準法**が施行、目的は「耐震偽装事件の再発を防止し、法令遵守を徹底することにより、建築物の安全性に対する国民の信頼を回復すること」としている。

現在、確認申請業務に著しい遅延がでている。本年9月分建築統計着工調査によると全建築物の着工床面積は前年同月比44.7%減、新設住宅着工戸数は前年同月比44.0%減と共に3ヶ月連続減少。

愛知県中小企業家同友会によるアンケートから、工事の受注ができない。受注できても確認審査が下りないという建築業界の悲鳴や、工場建築等がストップしたことによる、設備投資産業始め諸産業への幅広い影響や、新規出店計画等の遅延を例示し、本市の現状を、過去の変遷とともに質問。

さらに

- ①民間確認検査機関の実情について
- ②法改正の内容と設計者側への周知方法
- ③地方行政レベルでの優れた事例の研究と、その速やかな導入を目的とした本市の確認審査業務の対応と、その影響を質問した。

## 回答 豊橋市の建築確認遅延問題

本市の主な状況は、改正前の駆け込み申請により、住宅の着工件数は前年を上回っている。しかし、構造計算書の添付を必要とする鉄骨及び鉄筋コンクリート造建築物等では、従来の21日間から35日ないしは70日間に審査期間が大幅延長している。この様な現状とともに、

- ①民間確認検査機関の実情としては、**審査時間増、処理可能件数制限、処分の厳格化**など。
- ②法改正周知としては、**講習会の開催、各種リーフレット**等による対応。
- ③本市への影響、**審査の円滑化、審査及び検査体制の充実**に向けて、できる限りの対応を再確認しました。

※木造2階建て(4号)以外の審査は、現在大変厳しい状況です…

## おもしろい 官製不況から救え

本市の建築確認申請は、いわゆるバブルの頃**年間5000件**ほど出されていた。現在は**年間2300件**ほどに減少している。建築確認・検査の民間開放によって本市に開設された民間検査機関は2機関で、【豊橋駅南・建築確認サービス】、【開発ビル・建築センター】その業務量は、6月の一部改正以前はそれぞれ**年間1000~1100件**を受付けていた。また本市の建築指導課は**200件程度**であった。その民間機関が受付数を抑えている。構造計算ソフトは、複数社が開発中とのことだが、もしソフトにエラーがあると過大な責任を取らされるという危機感から遅れている。さらに鉄骨の大型建築物は現在殆んどストップ状態。こちらのソフトは来年度に大きな課題が…。

今回の耐震疑惑は、職業倫理に劣る設計士とデベロッパーが引き金を引いた。しかし、この改正法は不備も多く、いかに消費者を守る法律といえども、現状では師走、年度末を越せない多くの中小零細企業を屍とする。さらに事態が収束にむかっても、一時に集中する受注は新たに様々な問題を引き起こします。

医療と同じで、**最後の最後に頼りになるのは行政機関**、近い将来、この危機を脱したとき、豊橋市は平成19年建築確認申請の引き起こした**「官製不況」**にも地方行政の手腕に優れ、市庁を挙げて困難に立ち向かい、誠実な事業者を一社たりとも破綻させなかったといわれる迅速な対応を強く期待します。

★最新情報★豊橋市は現在出来る限りの人員体制を調整中！★

市街地には、土地の高度利用が話題にあがる地所は多いが…



豊城中学校北校舎を市役所から望む  
手前のプレハブが仮校舎、既に生徒が入る。



さようなら 北校舎

**回答 学校 家庭 地域 それぞれの役割と連携**

新入学児童・生徒の保護者に関しては、入学説明会など校長自ら協力を呼び掛けます。全保護者や地域に関してはPTA総会・学校新聞・ホームページ・授業参観・学校開放等の場で、教育委員会では、「新しい『豊橋の教育』」を作成、県からも「愛知の教育に関するアクションプラン」が示されました。

**おもい** 明治維新以来140年、今こそ私達は現代の「自助論/スマイルズ著」に目覚め、子供たちの教育に対し、責任を持ちたい。

**質問2 本市における教育の諸課題について**

**(1) 学校、家庭、地域、それぞれの役割と連携**

新入学児童・生徒が入るこの時期にこそ、学校は保護者に教育ビジョンを明確に示し、家庭が責任を果たすことが出来るように促す必要があるのでは？

**(2) ゆとり教育からの方向転換と本市の教育方針と大量退職時代という課題**

2011年スタート予定の新学習指導要領では、「生きる力」をはぐくむ理念を引き継ぎながらも授業時間数など大幅な見直しが行われている。加えてベテラン教師の大量退職時代(毎年約100名)を教育の質を落とす事無くいかに切り抜けるか？

**(3) 本年度全市一斉に導入された小中学校2学期制の進捗状況**

年間を2つに区切ることで、年間行事等を柔軟に設定でき、各学校が最適な教育のかたちを創出できるとしているが？また、高校受験等に心配は無いのか？

**(4) 公立小中学校施設の建築のありかた**

耐震改修状況、エコ改修、新築・改築時の基本コンセプトについて伺う！

**回答 ゆとり教育の転換 大量退職時代**

次期指導要領では大幅な見直しの方向が出されたが、「生きる力」をはぐくむ教育理念は不易であり、「学校文化の再生」を図り、「この子の輝く」教育は普遍の姿勢。地域や保護者との連携、学校における質の高い授業の保障、大量退職への対応、授業時間数の増加等による教職員の多忙化等に対応。本年99名の初任者を採用、若手教員の資質向上は喫緊の課題。ミドルリーダーの育成、学校暦逸話集「教育羅針盤」、学校ボランティア等にて、全力で対応中です。 **応援しよう！学校教育！**

**回答 小中学校2学期制の進捗状況**

2学期制について、全小中学校対象のアンケートを実施、中学校では70%、小学校では80%の保護者が理解を示している。夏休み有効活用としてサマースクールの開催、補修学習、学習相談など取り組み開始。また、2学期制導入に伴う工夫で産み出された20~30時間を、基礎学習に有効活用している。評価は年間2回だが、学習の節目節目に見直しを図っている。高校受験では中学校高等学校が連携し不安のない進路情報の提供に努めています。 **頑張れ生徒諸君！今後の課題は中高連携**

**回答 公立小中学校施設の建築のありかた**

小中学校の耐震改修状況は、調査の結果改築が必要となった豊城中学校、中部中学校は仮設校舎へ移転し新校舎への改築に着手。2校を除く全ての小中学校は平成19年度中に耐震改修が完了する。エコ改修の取り組みは耐久性の高い材料・省エネルギー器材・間伐材の利用、南洋材使用の自粛、建築廃棄物の再生、壁面緑化、太陽光発電システム、雨水利用に現在取り組んでいる。

基本コンセプトは高機能、多目的、変化に対応する弾力的な施設環境の整備。校内LANなど情報環境の充実。バリアフリーと環境共生。学校開放に適した施設整備や体育館と市民館の複合化。景観風致地区にある豊城中学校のありかた、人口増加が予想される中部中学校など、地域の実情に即して対応していきます。

**おもい** 建築資材の地産地消や、さらなるエコロジーへの取り組みは時代のテーマ。子供たちが学校建築を通して様々な職業へ関心を抱き、理想の学校へ創造をめぐらす事で、施設の整った学習環境への感謝とともに、将来を「生きる力」をはぐくんで欲しい。

**総務委員会**

行政評価について/人事考課について  
落札価額の低かった住宅入札について等

**決算特別委員会**

広報事業費について ■ 広報豊橋外国語版、あったかニュース  
広域行政推進事業費について

市民センター管理運営事業費について ■ カリオンビルの課題  
地域情報化推進事業費について ■ 市民開放端末機の利用率低下  
文化が見えるまちづくり事業費 ■ 美術博物館について

TMO支援事業費について ■ 4つの事業が継続されているが  
※平成18年まち造り3法が改正されたが未だに出口が見えない  
豊橋駅東西自由連絡通路等、駅東口駐輪場について

※平成18年度より指定管理者制度へ移行したなかでの認識

100周年映画鑑賞事業費/「早咲きの花」について

小中学校における情報教育推進事業費について

※e-japan計画は高速インターネット配備とあるが等質疑しました。

**“TOKUYA TIMES” 編集後記**

次回3月議会は豊橋市の予算大綱を審議する大場所です。さて、新人議員として8ヶ月を経験し、議会における「多数決」の重みを、心底深く学びました。皆様のご理解を頂戴し、無所属の市議会議員として活動させていただいていましたが、いよいよ4月は決断の時です。

**市政報告会のご案内**

平成20年2月5日(火) カリオンビルにて、  
午後2時~3時30分 **市政報告会1部**  
午後4時~6時 **意見交換会**  
午後7時~8時30分 **市政報告会2部**  
2回に分けた市政報告会とともに、意見交換会を開催します。是非お越し下さい。

**発行**

伊藤とくや事務所  
豊橋市松葉町 3-70  
TEL : 0532-57-4192  
FAX : 0532-56-5521  
bbito@mx1.tees.ne.jp  
自宅 : 0532-53-4556